



# 生活健忘チェックリスト

検査日: 200 / /

対象: 家族

記入法: 最近1ヶ月間の生活の中で、以下の13の項目がどのくらいの頻度であったと思いますか。右の4つ(全くない、時々ある、よくある、常にある)の中から最も近いものを選択して、その数字を○で囲んで下さい。

	全く ない	時々 ある	よく ある	常に ある	得点を 入力
1 昨日あるいは数日前に言われたことを忘れており、再度言われなれないと思えないことがありますか？	0	1	2	3	
2 つい、その辺りに物を置き、置いた場所を忘れてしまったり、物を失くしたりすることがありますか？	0	1	2	3	
3 物がいつもしまっている場所を忘れて、全く関係のない場所を探したりすることがありますか？	0	1	2	3	
4 ある出来事が起こったのがいつだったかを忘れていませんか？(例: 昨日だったのか、先週だったのか)	0	1	2	3	
5 必要な物を持たずに出かけたり、どこかに置き忘れて帰ってきたりすることがありますか？	0	1	2	3	
6 自分で「する」と言ったことを、し忘れることがありますか？	0	1	2	3	
7 前日の出来事の中で、重要と思われることの内容を忘れていませんか？	0	1	2	3	
8 以前に会ったことのある人たちの名前を忘れていませんか？	0	1	2	3	
9 誰かが言ったことの細部を忘れたり、混乱して理解していることがありますか？	0	1	2	3	
10 一度、話した話や冗談をまた言うことがありますか？	0	1	2	3	
11 直前に言ったことを繰り返し話したり、「今、何を話していましたっけ」などと言うことがありますか？	0	1	2	3	
12 以前、行ったことのある場所への行き方を忘れたり、よく知っている建物の中で迷うことがありますか？	0	1	2	3	
13 何かしている最中に注意をそらす出来事があつた後、自分が何をしていたか忘れることがありますか？	0	1	2	3	

得点 \_\_\_\_ / 39点

# 生活健忘チェックリスト

検査日: 200 / /

対象: 患者

記入法: 最近1ヶ月間の生活の中で、以下の13の項目がどのくらいの頻度であったと思いますか。右の4つ(全くない、時々ある、よくある、常にある)の中から最も近いものを選択して、その数字を○で囲んで下さい。

	全く ない	時々 ある	よく ある	常に ある	得点を 入力
1 昨日あるいは数日前に言われたことを忘れており、再度言われないと思いつけないことがありますか？	0	1	2	3	
2 つい、その辺りに物を置き、置いた場所を忘れてしまったり、物を失くしたりすることがありますか？	0	1	2	3	
3 物がいつもしまっている場所を忘れて、全く関係のない場所を探したりすることがありますか？	0	1	2	3	
4 ある出来事が起こったのがいつだったかを忘れていませんか？(例: 昨日だったのか、先週だったのか)	0	1	2	3	
5 必要な物を持たずに出かけたり、どこかに置き忘れて帰ってきたりすることがありますか？	0	1	2	3	
6 自分で「する」と言ったことを、し忘れることがありますか？	0	1	2	3	
7 前日の出来事の中で、重要と思われることの内容を忘れていませんか？	0	1	2	3	
8 以前に会ったことのある人たちの名前を忘れていませんか？	0	1	2	3	
9 誰かが言ったことの細部を忘れたり、混乱して理解していることがありますか？	0	1	2	3	
10 一度、話した話や冗談をまた言うことがありますか？	0	1	2	3	
11 直前に言ったことを繰り返し話したり、「今、何を話していましたっけ」などと言うことがありますか？	0	1	2	3	
12 以前、行ったことのある場所への行き方を忘れたり、よく知っている建物の中で迷うことがありますか？	0	1	2	3	
13 何かしている最中に注意をそらす出来事があった後、自分が何をしていたか忘れることがありますか？	0	1	2	3	

得点 \_\_\_\_ / 39点

	健康 (CDR 0)	痴呆の疑い (CDR 0.5)	軽度痴呆 (CDR 1)	中等度痴呆 (CDR 2)	重度痴呆 (CDR 3)
記憶	記憶障害なし 時に若干のもの忘れ 0	一貫した軽いもの 忘れ 不完全な想起 “良性健忘” 0.5	中等度の記憶障害 とくに最近の出来事 に対して 日常生活に支障 1	重度の記憶障害 高度に学習した記憶 は保持、新しいものは すぐに忘れる 2	重度の記憶障害 断片的記憶のみ残存 3
見当識	見当識障害なし 0	時間的関連性に軽度 の障害がある以外は 見当識障害なし 0.5	時間的関連性に中等 度の障害がある 質問式による検査 では場所の見当識 はあるが、他では地 理的失見当がみら れることがある 1	時間的関連性に重 度の障害がある 通常時間の失見当 がみられ、しばしば 場所の失見当があ る 2	人物への見当識の み 3
判断力と 問題解決	日常生活での問題 解決に支障なし 過去の行動に関し て判断も適切 0	問題解決および類 似や相違の理解に 軽度の障害 0.5	問題解決および類 似や相違の理解に 中程度の障害 社会的判断は通常 保たれている 1	問題解決および類 似や相違の理解に 重度の障害 社会的判断は通常 障害されている 2	判断不能 問題解決不能 3
社会適応	仕事、買い物、商 売、金銭の管理、ボ ランティア、社会的 グループで普通の 自立した機能を果 たせる 0	これらの活動で軽 度の障害がある 0.5	これらの活動のいく つかには参加でき るが、自立した機能 を果たすことはでき ない 表面的には普通に 見える 1	家庭外では自立し た機能を果たすこ とができない 一見家庭外の活動 にかかわれるよう に見える 2	家庭外では自立し た機能は果たせな い 一見して家庭外で の活動に参加でき るようには見えない 3
家庭状況 および 趣味・関心	家庭での生活、趣 味や知的関心は十 分に保たれている 0	家庭での生活、趣 味や知的関心が軽 度に障害されてい る 0.5	家庭での生活に軽 度であるが明らかに 障害がある より難しい家事は できない より複雑な趣味や 関心は喪失 1	単純な家事はでき るが、非常に限られ た関心がわずかに ある 2	家庭で意味のある ことはできない 3
パーソナル ケア	セルフケアは完全にできる 0		時に励ましが必要 1	着衣や衛生管理、 身繕いに介助が必 要 2	本人のケアに対 して多大な介助が 必要 しばしば失禁 3

判定方法：

6項目がすべて同じ評定レベルでないときには以下に示す方法に従って痴呆の程度を判定する。

- ・記憶障害の程度を基準にしてCDRを決定する。
- ・記憶以外の少なくとも3つの項目が記憶の障害と同じ程度であれば、CDRは記憶障害の程度に相当する。
- ・記憶以外の3つ以上の項目が記憶の障害のレベルよりも重症の評価であれば、3つ以上の項目の障害レベルによって示されるCDRになる。もし、3つ以上の項目が記憶の障害のレベルよりも軽度であれば、やはりそれらの項目の障害レベルによって示されるCDRになる。
- ・記憶以外の3つの項目が記憶の障害レベルよりも軽度であり、2つの項目が重度であるときには記憶障害のレベルでCDRを判定する。逆の場合も同様である。
- ・記憶障害のレベルが0.5のとき、ほかの少なくとも3つの項目が1かそれ以上であれば（この場合には介護状況の項目は考慮しない）、CDRは1となる。
- ・記憶障害のレベルが0.5であればCDRが0となることはない。0.5あるいは1のどちらかとなる。
- ・記憶障害のレベルが0であり、ほかの2つ以上の項目の障害レベルが1であればCDRは0.5となる。

# Clinical Dementia Rating (CDR)

検査日: 200 / /

CDR下位項目の評価内容およびCDR判定方法は次ページに示す。

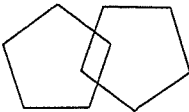
## CDR下位項目の評価

CDR 項目	得点入力
記 憶	
見当識	
判断力と問題解決	
社会適応	
家庭状況および 趣味・関心	
パーソナルケア	
判 定	

註: パーソナルケアは0, 1, 2, 3, の4段階です。

# Mini-Mental State Examination (MMSE)

検査日: 200 / /

質問内容		得点				得点入力		
1 (5点)	今年は何年ですか	0	1					
	今の季節は何ですか	0	1					
	今日は何曜日ですか	0	1					
	今日は何月ですか	0	1					
	今日は何日ですか	0	1					
2 (5点)	ここは何県ですか	0	1					
	ここは何市ですか	0	1					
	ここは何病院ですか	0	1					
	ここは何階ですか	0	1					
	ここは何地方ですか	0	1					
3 (3点)	物品名3個 (相互に無関係) 検者は物の名前を1秒間に1個ずつ言う その後、被験者に繰り返させる 正答は1個につき1点を与える 3個すべて言うまで繰り返す (6回まで) 何回繰り返したかを記せ _____ 回	0	1	2	3			
4 (5点)	100から順に7を引く (5回まで)	0	1	2	3	4	5	
5 (3点)	3で提示した物品名を再度復唱させる	0	1	2	3			
6 (2点)	(時計を見せながら) これは何ですか (鉛筆を見せながら) これは何ですか	0	1	2				
7 (1点)	次の文章を繰り返す 「みんなで、力を合わせて綱を引きます」	0	1					
8 (3点)	(3段階の命令) 「右手にこの紙を持って下さい」 「それを半分に折りたたんで下さい」 「机の上に置いて下さい」	0	1	2	3			
9 (1点)	(次の文章を読んで、その指示に従って下さい) 「眼を閉じなさい」	0	1					
10 (1点)	(何か文章を書いて下さい)	0	1					
11 (1点)	(次の図形を描いて下さい) 	0	1					

合計得点 \_\_\_\_\_ / 30点

論理的記憶Ⅱ (遅延再生)

WMS-R logical memory採点表

検査日: 200 / /

物語Aも物語Bも実施する。  
正しく繰り返された項目に1点ずつ与える。

物語A	得点
会社の / 食堂で / 調理師として / 働いている /	
北 / 九州の / 上田 / 恵子さんは / 昨夜 / 大通りで /	
襲われ / 5万6千円を / 奪われたと / 駅前の / 交番に /	
届出た。 / 彼女には4人の / 幼い子供がいて /	
家賃の支払いもあり / 2日間 / 親子は何も食べていなかった。 /	
警官は / この話に同情して / 彼女のために / 寄付金を集めた。	
物語A得点 (最高:25)	

物語B	得点
佐藤 / 一郎さんが / 夜 / 多摩川 / 河口の / 道路を /	
10トン / トラックに / 卵を積んで / 横浜に向けて /	
走っていると / 車の車軸が / 折れた。 / 車は横滑りして /	
道路をはずれ / 溝にはまった。 / 彼は計器盤の方に /	
投げ出され / くらくらとした。 / ほかに行き交う車はなく /	
助けが来るとは思えなかった。 / ちょうどそのとき、車の無線機が /	
鳴った。 / 彼はすぐに答え / 「こちら2号車、助けてくれ」と言った。	
物語B得点 (最高:25)	

粗点(物語A+B)  
(最高:50)

論理的記憶 I (即時再生)

WMS-R logical memory採点表

検査日: 200 / /

物語Aも物語Bも実施する。  
正しく繰り返された項目に1点ずつ与える。

物語A	得点
会社の / 食堂で / 調理師として / 働いている /	
北 / 九州の / 上田 / 恵子さんは / 昨夜 / 大通りで /	
襲われ / 5万6千円を / 奪われたと / 駅前の / 交番に /	
届出た。 / 彼女には4人の / 幼い子供がいて /	
家賃の支払いもあり / 2日間 / 親子は何も食べていなかった。 /	
警官は / この話に同情して / 彼女のために / 寄付金を集めた。	
物語A得点 (最高: 25)	

物語B	得点
佐藤 / 一郎さんが / 夜 / 多摩川 / 河口の / 道路を /	
10トン / トラックに / 卵を積んで / 横浜に向けて /	
走っていると / 車の車軸が / 折れた。 / 車は横滑りして /	
道路をはずれ / 溝にはまった。 / 彼は計器盤の方に /	
投げ出され / くらくらとした。 / ほかに行き交う車はなく /	
助けが来るとは思えなかった。 / ちょうどそのとき、車の無線機が /	
鳴った。 / 彼はすぐに答え / 「こちら2号車、助けてくれ」と言った。	
物語B得点 (最高: 25)	
粗点(物語 A+B) (最高: 50)	



除外のための臨床検査

検査名	結果	施設の正常値
*TSH		
*free T3		
*free T4		
*Vit B1		
*Vit B12		
*葉酸		
*血清Ca		
*TPHA		
WBC		
RBC		
Hgb		
Hct		
Plt		
総蛋白		
血清アルブミン		
AST		
ALT		
ALP		
ChE		
総ビリルビン		
BUN		
クレアチニン		
Na		
K		
Cl		
血糖		
HbA1c		

\* は必須項目

除外基準

1 or 2  
を入力

1. アルコール中毒の既往または治療中	1: いいえ 2: はい	
2. てんかんの既往または治療中	1: いいえ 2: はい	
3. 教育歴が6年以下	1: いいえ 2: はい	
4. 現状を評価する情報提供者がいない	1: いいえ 2: はい	
5. インスリン治療中の糖尿病患者	1: いいえ 2: はい	
6. 抗うつ剤、抗精神病薬、長期にわたる催眠鎮静剤の投与	1: いいえ 2: はい	
7. アリセプトを現在内服しているか	1: いいえ 2: はい	
8. 重篤な合併症がある (悪性腫瘍、心不全、肝障害、腎障害、内分泌疾患など)	1: いいえ 2: はい	

神経学的症候の有無

片麻痺	1: いいえ 2: はい	
錐体外路徴候	1: いいえ 2: はい	
球麻痺	1: いいえ 2: はい	
運動失調	1: いいえ 2: はい	
眼球運動障害	1: いいえ 2: はい	
失語	1: いいえ 2: はい	
失行	1: いいえ 2: はい	
失認	1: いいえ 2: はい	
半側空間無視	1: いいえ 2: はい	
けいれん発作	1: いいえ 2: はい	

精神医学的症候の有無

うつ	1: いいえ 2: はい	
幻覚	1: いいえ 2: はい	
妄想	1: いいえ 2: はい	



# SEAD-Japan

## 追跡時症例記録用紙

施設名	
登録番号	
医師名	



NINCDS-ADRDA (Alzheimer病の臨床診断基準)

数字  
を入力

I. Alzheimer病「ほぼ確実」

痴呆が次の三つで確認されていること		
臨床的診断	1: はい 2: いいえ	
知能テスト(ミニメンタルステートなど)	1: はい 2: いいえ	
神経心理学的テスト	1: はい 2: いいえ	
認知機能のうち二つ以上が障害されている		
記憶障害がある	1: はい 2: いいえ	
失語がある	1: はい 2: いいえ	
失行がある	1: はい 2: いいえ	
失認がある	1: はい 2: いいえ	
高次機能の障害がある	1: はい 2: いいえ	
記銘と他の認知機能が進行性に悪化		
意識障害がない	1: はい 2: いいえ	
痴呆の原因となる全身疾患やAlzheimer病以外の脳疾患がない		
	1: はい 2: いいえ	

II. 「ほぼ確実」を支持する所見

言語・運動行為・認知機能の障害(失語・失行・失認)の進行性悪化	1: はい 2: いいえ	
日常生活動作の障害と行動パターンの変化	1: あり 2: なし	
類似疾患の家族歴がある (とくにAlzheimer病と病理診断されている場合)	1: あり 2: なし	
検査所見 髄液:正常	1:正常 2: 異常 3:実施無	
脳波:正常あるいは非特異的変化(徐波増加など)	1:正常 2: 異常 3:実施無	
CT(MRI):経過追跡で脳萎縮が確認されている	1:あり 2: なし 3:実施無	

II. 「ほぼ確実」と矛盾する所見

突然の脳卒中様発症	1: あり 2: なし	
局所神経症状 (片麻痺、感覚障害、視野障害、初期の協調運動障害など)	1: あり 2: なし	
発症早期の痙攣発作や歩行障害	1: あり 2: なし	

## WMS-R logical memory採点表

検査日: 200 / /

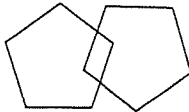
物語Aも物語Bも実施する。  
正しく繰り返された項目に1点ずつ与える。

物語A	得点
会社の / 食堂で / 調理師として / 働いている /	
北 / 九州の / 上田 / 恵子さんは / 昨夜 / 大通りで /	
襲われ / 5万6千円を / 奪われたと / 駅前の / 交番に /	
届出た。 / 彼女には4人の / 幼い子供がいて /	
家賃の支払いもあり / 2日間 / 親子は何も食べていなかった。 /	
警官は / この話に同情して / 彼女のために / 寄付金を集めた。	
物語A得点 (最高: 25)	

物語B	得点
佐藤 / 一郎さんが / 夜 / 多摩川 / 河口の / 道路を /	
10トン / トラックに / 卵を積んで / 横浜に向けて /	
走っていると / 車の車軸が / 折れた。 / 車は横滑りして /	
道路をはずれ / 溝にはまった。 / 彼は計器盤の方に /	
投げ出され / くらくらとした。 / ほかに行き交う車はなく /	
助けが来るとは思えなかった。 / ちょうどそのとき、車の無線機が /	
鳴った。 / 彼はすぐに答え / 「こちら2号車、助けてくれ」と言った。	
物語B得点 (最高: 25)	
粗点(物語 A+B) (最高: 50)	

# Mini-Mental State Examination (MMSE)

検査日: 200 / /

質問内容		得点		得点入力				
1 (5点)	今年は何年ですか	0	1					
	今の季節は何ですか	0	1					
	今日は何曜日ですか	0	1					
	今日は何月ですか	0	1					
	今日は何日ですか	0	1					
2 (5点)	ここは何県ですか	0	1					
	ここは何市ですか	0	1					
	ここは何病院ですか	0	1					
	ここは何階ですか	0	1					
	ここは何地方ですか	0	1					
3 (3点)	物品名3個 (相互に無関係) 検者は物の名前を1秒間に1個ずつ言う その後、被験者に繰り返させる 正答は1個につき1点を与える 3個すべて言うまで繰り返す (6回まで) 何回繰り返したかを記せ _____ 回	0	1	2	3			
4 (5点)	100から順に7を引く (5回まで)	0	1	2	3	4	5	
5 (3点)	3で提示した物品名を再度復唱させる	0	1	2	3			
6 (2点)	(時計を見せながら) これは何ですか (鉛筆を見せながら) これは何ですか	0	1	2				
7 (1点)	次の文章を繰り返す 「みんなで、力を合わせて綱を引きます」	0	1					
8 (3点)	(3段階の命令) 「右手にこの紙を持って下さい」 「それを半分に折りたたんで下さい」 「机の上に置いて下さい」	0	1	2	3			
9 (1点)	(次の文章を読んで、その指示に従って下さい) 「眼を閉じなさい」	0	1					
10 (1点)	(何か文章を書いて下さい)	0	1					
11 (1点)	(次の図形を描いて下さい) 	0	1					

合計得点

/30点



# Clinical Dementia Rating (CDR)

検査日: 200 / /

CDR下位項目の評価内容およびCDR判定方法は次ページに示す。

## CDR下位項目の評価

項目 \ CDR	得点入力
記 憶	
見当識	
判断力と問題解決	
社会適応	
家庭状況および 趣味・関心	
パーソナルケア	
判 定	

註: パーソナルケアは0, 1, 2, 3, の4段階です。

	健康 (CDR 0)	痴呆の疑い (CDR 0.5)	軽度痴呆 (CDR 1)	中等度痴呆 (CDR 2)	重度痴呆 (CDR 3)
記憶	記憶障害なし 時に若干のものを忘れ 0	一貫した軽いもの 忘れ 不完全な想起 “良性健忘” 0.5	中等度の記憶障害 とくに最近の出来事 に対して 日常生活に支障 1	重度の記憶障害 高度に学習した記 憶は保持、新しいも のはすぐに忘れる 2	重度の記憶障害 断片的記憶のみ残 存 3
見当識	見当識障害なし 0	時間的関連性に軽 度の障害がある以 外は見当識障害な し 0.5	時間的関連性に中 等度の障害がある 質問式による検査 では場所の見当識 はあるが、他では地 理的失見当がみら れることがある 1	時間的関連性に重 度の障害がある 通常時間の失見当 がみられ、しばしば 場所の失見当があ る 2	人物への見当識の み 3
判断力と 問題解決	日常生活での問題 解決に支障なし 過去の行動に関し て判断も適切 0	問題解決および類 似や相違の理解に 軽度の障害 0.5	問題解決および類 似や相違の理解に 中程度の障害 社会的判断は通常 保たれている 1	問題解決および類 似や相違の理解に 重度の障害 社会的判断は通常 障害されている 2	判断不能 問題解決不能 3
社会適応	仕事、買い物、商 売、金銭の管理、ボ ランティア、社会的 グループで普通の 自立した機能を果 たせる 0	これらの活動で軽 度の障害がある 0.5	これらの活動のいく つかには参加でき るが、自立した機能 を果たすことはでき ない 表面的には普通に 見える 1	家庭外では自立し た機能を果たすこ とができない 一見家庭外の活動 にかかわれるよう に見える 2	家庭外では自立し た機能は果たせな い 一見して家庭外で の活動に参加でき るようには見えない 3
家庭状況 および 趣味・関心	家庭での生活、趣 味や知的関心は十 分に保たれている 0	家庭での生活、趣 味や知的関心が軽 度に障害されてい る 0.5	家庭での生活に軽 度であるが明らかに 障害がある より難しい家事はで きない より複雑な趣味や 関心は喪失 1	単純な家事はでき るが、非常に限られ た関心がわずかに ある 2	家庭で意味のある ことはできない 3
パーソナル ケア	セルフケアは完全にできる 0		時に励ましが必要 1	着衣や衛生管理、 身繕いに介助が必 要 2	本人のケアに対し て多大な介助が必 要 しばしば失禁 3

判定方法：

6項目がすべて同じ評定レベルでないときには以下に示す方法に従って痴呆の程度を判定する。

- ・記憶障害の程度を基準にしてCDRを決定する。
- ・記憶以外の少なくとも3つの項目が記憶の障害と同じ程度であれば、CDRは記憶障害の程度に相当する。
- ・記憶以外の3つ以上の項目が記憶の障害のレベルよりも重症の評価であれば、3つ以上の項目の障害レベルによって示されるCDRになる。もし、3つ以上の項目が記憶の障害のレベルよりも軽度であれば、やはりそれらの項目の障害レベルによって示されるCDRになる。
- ・記憶以外の3つの項目が記憶の障害レベルよりも軽度であり、2つの項目が重度であるときには記憶障害のレベルでCDRを判定する。逆の場合も同様である。
- ・記憶障害のレベルが0.5のとき、ほかの少なくとも3つの項目が1かそれ以上であれば（この場合には介護状況の項目は考慮しない）、CDRは1となる。
- ・記憶障害のレベルが0.5であればCDRが0となることはない。0.5あるいは1のどちらかとなる。
- ・記憶障害のレベルが0であり、ほかの2つ以上の項目の障害レベルが1であればCDRは0.5となる。

# 生活健忘チェックリスト

検査日: 200 / /

対象: 患者

記入法: 最近1ヶ月間の生活の中で、以下の13の項目がどのくらいの頻度であったと思いますか。右の4つ(全くない、時々ある、よくある、常にある)の中から最も近いものを選択して、その数字を○で囲んで下さい。

	全く ない	時々 ある	よく ある	常に ある	得点を 入力
1 昨日あるいは数日前に言われたことを忘れており、再度言われないと思いつけないことがありますか？	0	1	2	3	
2 つい、その辺りに物を置き、置いた場所を忘れてしまったり、物を失くしたりすることがありますか？	0	1	2	3	
3 物がいつもしまっている場所を忘れて、全く関係のない場所を探したりすることがありますか？	0	1	2	3	
4 ある出来事が起こったのがいつだったかを忘れていませんか？(例: 昨日だったのか、先週だったのか)	0	1	2	3	
5 必要な物を持たずに出かけたり、どこかに置き忘れて帰ってきたりすることがありますか？	0	1	2	3	
6 自分で「する」と言ったことを、し忘れることがありますか？	0	1	2	3	
7 前日の出来事の中で、重要と思われることの内容を忘れていませんか？	0	1	2	3	
8 以前に会ったことのある人たちの名前を忘れていませんか？	0	1	2	3	
9 誰かが言ったことの細部を忘れたり、混乱して理解していることがありますか？	0	1	2	3	
10 一度、話した話や冗談をまた言うことがありますか？	0	1	2	3	
11 直前に言ったことを繰り返し話したり、「今、何を話していましたっけ」などと言うことがありますか？	0	1	2	3	
12 以前、行ったことのある場所への行き方を忘れたり、よく知っている建物の中で迷うことがありますか？	0	1	2	3	
13 何かしている最中に注意をそらす出来事があつた後、自分が何をしてたか忘れることがありますか？	0	1	2	3	

得点 \_\_\_\_ / 39点

# 生活健忘チェックリスト

検査日: 200 / /

対象: 家族

記入法: 最近1ヶ月間の生活の中で、以下の13の項目がどのくらいの頻度であったと思いますか。右の4つ(全くない、時々ある、よくある、常にある)の中から最も近いものを選択して、その数字を○で囲んで下さい。

	全く ない	時々 ある	よく ある	常に ある	得点を 入力
1 昨日あるいは数日前に言われたことを忘れており、再度言われないと思いつけないことがありますか？	0	1	2	3	
2 つい、その辺りに物を置き、置いた場所を忘れてしまったり、物を失くしたりすることがありますか？	0	1	2	3	
3 物がいつもしまっている場所を忘れて、全く関係のない場所を探したりすることがありますか？	0	1	2	3	
4 ある出来事が起こったのがいつだったかを忘れていることがありますか？(例: 昨日だったのか、先週だったのか)	0	1	2	3	
5 必要な物を持たずに出かけたり、どこかに置き忘れて帰ってきたりすることがありますか？	0	1	2	3	
6 自分で「する」と言ったことを、し忘れることがありますか？	0	1	2	3	
7 前日の出来事の中で、重要と思われることの内容を忘れていることがありますか？	0	1	2	3	
8 以前に会ったことのある人たちの名前を忘れていることがありますか？	0	1	2	3	
9 誰かが言ったことの細部を忘れたり、混乱して理解していることがありますか？	0	1	2	3	
10 一度、話した話や冗談をまた言うことがありますか？	0	1	2	3	
11 直前に言ったことを繰り返し話したり、「今、何を話していましたっけ」などと言うことがありますか？	0	1	2	3	
12 以前、行ったことのある場所への行き方を忘れたり、よく知っている建物の中で迷うことがありますか？	0	1	2	3	
13 何かしている最中に注意をそらす出来事があった後、自分が何をしてたか忘れることがありますか？	0	1	2	3	

得点 \_\_\_\_ / 39点